

通信費	八、六〇
交通費	三、五〇
人件費(手傳ひの日給合計)	四、五〇
原簿用紙費	一三、〇〇
新聞保険金利息	七三、〇〇
合計	七六七、二五
収入	二七六、一八
新聞紙代	

第四節 宣傳部報告

部長 石原美行

一、全國遊説

一、宣傳部は七月五日、吾黨結成と同時に、之れを全国的に宣傳する事は勿論地方合同完成並に府縣會議員選舉闘争の前哨戦等々の関連に於て全國遊説の計畫を、七月十三日第二回常任執行委員會の決定(北海道遊説は府縣議院終了に基き次の如く決行す、
一、九州 二、四國 三、本州(七區に分つ) 四、北海道 派遣せる主なる辯士、

麻生、淺沼、中村、三輪、河野、松谷、室伏、加藤、山崎、河野、

この全國遊説計畫は合同直接に於ける地方の事情、並に府縣議院以前に打切るため短期間にして廣範圍に渡り十分なる考慮を缺き、急ぎ廻てられたるため

開催地の準備及び連絡等、不十分なる結果豫期の成果を納める事が出来なかつた。

二、府縣會議員選舉闘争

一、府縣會議員選舉期間に於ける宣組部は、府縣會議員選舉特別委員會

廣告料	二〇、〇〇
寄附基金(機關紙上發表費)	一七、〇一
借入金	三〇、〇〇
寄附金	三六〇、六八
黨本部からの補助金	七五、〇〇
合計	七七八、八七
差引繰越額	一一、六一

三、主なる派遣辯士、
要求件数、 八十五、 派遣数、 六十八
大山、松谷、淺沼、堀、麻生、淺沼、阿部、加藤、三輪、中村、宮崎、河野、山崎、室伏、橋本、岩井、平野、飯田

第五節 調査部報告

部長 鈴木茂三郎

調査情報部は此の期間、つひに部門を確立することが出来なかつた。電燈問題に對する調査資料を發表したが、之れに付しても續いて瓦斯、電車、水道等の資料發表する豫定で素材をとりまとめただけで發表するに到らなかつた。

次年度に遺されべき重要問題は次ぎの通りである
一、調査部門委員の養成、調査的任務に興味を持ち又之れに適した職員であつても、黨の一般的任務に多忙なため調査に從事し得るものが少ない。従つて尙更ら調査委員を新たに養成

- 一、冷國遊説計畫に關する遊説隊派遣に
- 二、調査報告演説會開催に就いて
- 三、本部派遣辯士旅費負擔に就いて
- 四、地演説會開催報告書に就いて

する必要がある。調査情報部は本部並に支部聯合會の機關を通じて調査委員養成のための特殊講習會を組織しなければならぬ。

二、支部聯及び支部の執行部のなかに本部の調査情報部と連絡する同一の専門部門を設置すると共に、部門の一般的事務を統一しなければならぬ。

三、調査情報の材料の蒐集整理並に之れが正確を期するためには、黨の機關のみでは不十分なるを免れ難い、黨外に適当なる調査機關を設置しなければ充分でない。